

退出申し出路線の概要 (伊豆箱根バス株 大場函南線)

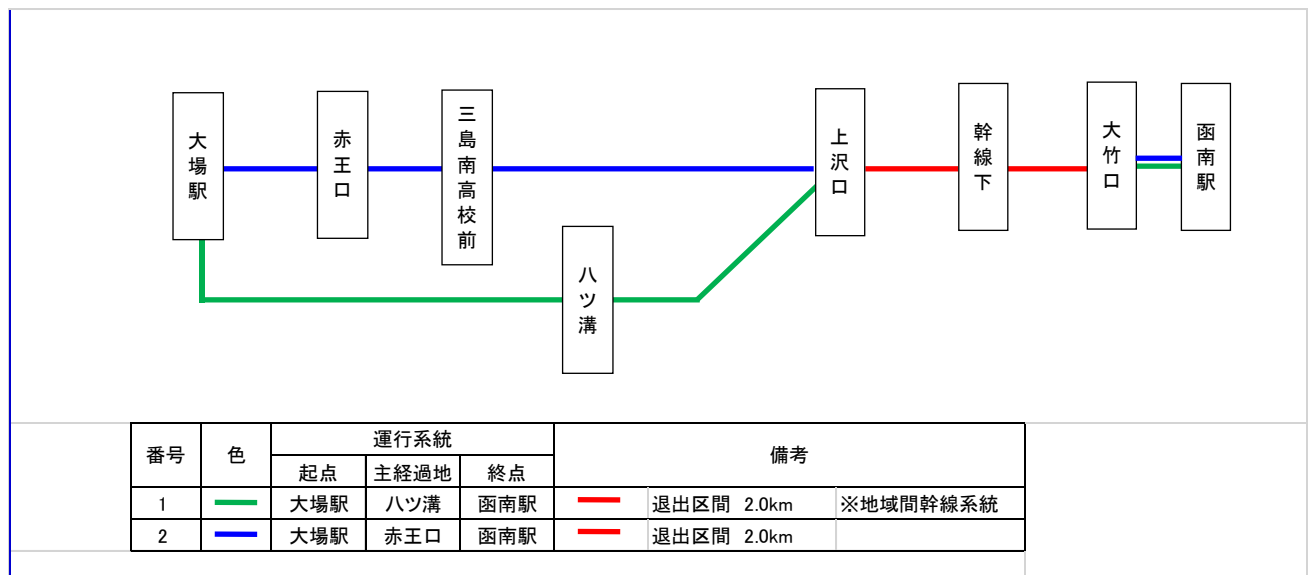
(1) 路線について

本線はＪＲ函南駅と伊豆箱根鉄道大場駅を結ぶ鉄道駅同士が起終点となり 1934 年に乗合自動車営業を開始した路線です。交通結節点である、函南駅・大場駅から、沿線にあるご自宅や各施設までのご利用が

主体の生活路線として運行しており、沿線には函南町文化センター・図書館等の公共施設、診療所が点在し、通勤の他日常の通院にもご利用されております。また、ハツ溝バス停から熱函道路沿いにある大型商業施設へ徒歩での移動も可能であり、買い物にもご利用されております。

しかしながら近年は利用者が減少し運行経費に見合う収入が得られておりません。令和 3 年度より地域間幹線系統として国と県から補助金を頂いているにもかかわらず赤字を計上しながら運行を継続している状況です。

(2) 路線の概要



※退出区間とは他の路線も含めて乗合バスの運行がない交通空白地になってしまう区間です。

◆運行本数等

路線全体 平日 13.5 本/往復 土日祝日 9.5 本/往復

系統別 ()内は1便あたりの平均乗車人数 ※令和5年5月の乗降調査より

・大場駅～ハツ溝～函南駅

平日12本/往復(片道1便あたり平均2.9人)

土曜8本/往復(片道1便あたり平均2.6人)

日祝8本/往復(片道1便あたり平均1.5人)

・大場駅～赤王口～函南駅(主に朝の通勤時間帯のみ)

平日1.5本/往復(片道1便あたり平均3.5人)

土曜1.5本/往復(片道1便あたり平均3.3人)

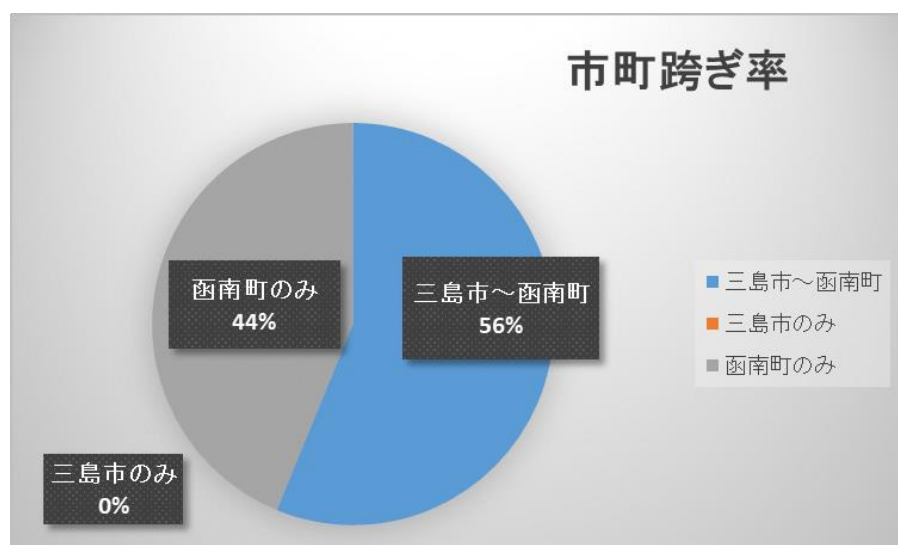
日祝1.5本/往復(片道1便あたり平均2.0人)

(3) 収支状況

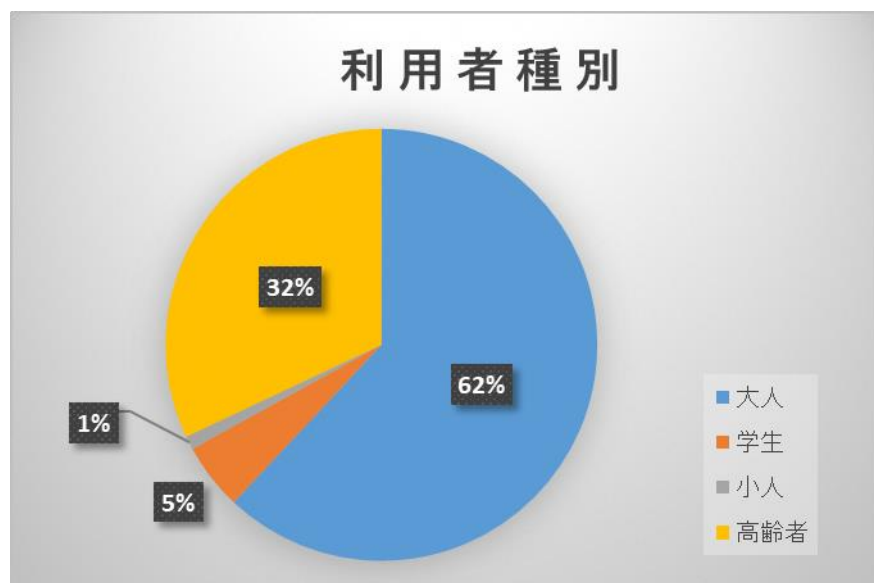
	運行系統			区分	実車走行キ 口	乗車 人員	経常 費用	経常 収入	収支
	起点	通過地	終点		(km)	(人)	(千円)	(千円)	(千円)
大場函南線	大場駅	ハツ溝	函南駅	2年度	39,486.5	24,726	15,153	6,542	▲8,611
		經由		3年度	35,928.9	21,960	14,257	5,486	▲8,771
		赤王口		4年度	35,961.7	24,167	13,881	5,637	▲8,243
		經由		5年度	35,969.9	23,467	14,864	6,457	▲8,406
		合計		6年度	36,038.4	23,458	14,892	6,455	▲8,436

(4) 利用実態(※令和5年5月の乗降調査より)

◆市町跨ぎの状況 《全体で56%の方が市町跨ぎによる利用》



◆利用者の割合 《大人 62%》《学生 5%》《小人 1%》《高齢者 32%》



(5) 総括

令和3年度には交通系ICカードのサービスを開始、令和4年度には乗合バスの現在地が把握できるバスロケーションサービスを開始するなどお客様の利便性の向上を図って参りました。
また令和4年10月には運賃改定を実施し収支改善を行いました。が、依然として欠損が続いており国庫補助を頂いても自社努力による路線維持は限界を迎えております。

あわせて過去に類をみない乗務員不足に陥っているため、現状乗務員一人あたりの勤務時間が慢性的に増加してしまっておりますが、令和6年4月に運転手の改善基準告示の改正が告知されております。改正後は乗務員の1ヶ月、1年の拘束時間が見直され、1日の休息時間は継続11時間を基本とし下限9時間(現在8時間)に変更となります。乗務員が不足している以上、休息時間を確保するためには当然1日の拘束時間を短縮しなければならず、全路線で運行の見直し・減便が必須となります。

当該路線につきましてはご利用状況と法改正の対応を鑑み、このまま継続していく事は困難と判断したため、今般退出の意向をお伝えいたします。

